

## 図書館だより

●開館時間●

9:00 ~ 18:00

●6月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■ 休館日

■ おはなし会

■ ひろたのみんなのおはなし会

■ にこここほっぺのおはなし会

砥部町立図書館

☎ (962) 4400

## 新着紹介

『落花流水』

『階段ランナー』

『奔流の海』

『サンセット・サンライズ』

『母の待つ里』

『山狩』

『月の光の届く距離』

『アクトレス』

『鶴』

『初心』

鈴木るりか

吉野万理子

伊岡 瞬

榎 周平

浅田 次郎

笹本 稜平

宇佐美まこと

誉田 哲也

夏井いつき

井上 康生



『おわかれはモーツァルト』  
中山 七里  
宝島社 刊

盲目の人気ピアニスト・榭場隆平に因縁をつけたフリーライターの窮地に立った榭場を、彼と同様シヨパンコンクールのファイナリストに名を連ねた岬洋介は救えるのか？



『その日まで』  
瀬戸内 寂聴  
講談社 刊

100歳近く生きつづけて、最も大切なことは、自分の生きざまの終わりと見とどけることだけであった。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた瀬戸内寂聴99歳、最期の長篇エッセイ。



『ボタニカ』  
朝井 まかて  
祥伝社 刊

小学校中退ながらも独学で植物研究に没頭した牧野富太郎。東京大学理学部植物学教室に出入りを許され、新種の発見など目覚ましい成果を上げるが…。稀代の植物学者を描く長編小説。

## みんなの人権

岡山社会教育課社会教育係  
☎ (962) 5952

### 子どもたちの笑顔のために 教科書無償運動

新年度が始まって、間もなく2カ月です。小学1年生たちも学校になれた頃でしょうか。

1年生のランドセルが大きく膨らんでいるのはなぜでしょうか。新しいからだけではありません。カバンの中には、教科書と一緒に夢や希望、憧れがいっぱい入っているからです。

教科書は、今では当たり前のように無償で給与されていますが、以前は有料でした。無償になったのは、部落差別をなくすための運動がきっかけとなって生まれた施策の1つです。

教科書無償を目指す運動は、1961(昭和36)年に教科書代を大きな負担と感じていた高知県の被差別部落の母親たちの運動から始まりました。母親たちは、学校の教師や地域の組織・団体、多くの人々に働きかけ、教科書無償運動を始めました。

運動の成果もあり、1962(昭和37)年に国会で「義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法

律」が成立しました。翌昭和38年度に小学1年生に給与され、以降、順次学年を追って毎年拡大されました。昭和44年度には小・中学校全学年に無償で給与されるようになり、現在まで続いています。

小学1年生に配られる教科書の入った袋には、次のように記されています。(一部抜粋)

この教科書の無償給与制度は、憲法に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、次代を担う子供たちに對し、我が国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いを込めて、その負担によって実施されております。

文部科学省

教科書の大切さを伝え、夢や希望、憧れを実現する教育についても考えてみませんか。  
子どもたちの笑顔のために。